



腹腔鏡下副腎摘除術における手術時間関連因子の分析-皮下・内臓脂肪量との関係を中心には-

2011年3月1日から2030年3月31日までに副腎腫瘍のために副腎摘除術を受けた患者さん

研究協力のお願い

当科では「腹腔鏡下副腎摘除術における手術時間関連因子の分析-皮下・内臓脂肪量との関係を中心には-」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2011年3月1日から2030年3月31日までに日本医科大学付属病院泌尿器科にて、良性または悪性の副腎腫瘍のために腹腔鏡手術による副腎摘除術を受けた患者さんの手術時間と画像検査、病理検査結果を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかず、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：腹腔鏡下副腎摘除術における手術時間関連因子の分析-皮下・内臓脂肪量との関係を中心には-

研究期間：研究実施許可日～2030年12月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 泌尿器科 大学院教授 近藤幸尋

(2) 研究の意義、目的について

本研究の目的は良性または悪性の副腎腫瘍に対する腹腔鏡手術による副腎摘除術において手術時間が長くなる原因を明らかにすることです。手術時間の延長は手術の難易度と関連します。また、手術時間が長くなることで合併症の頻度も増加します。副腎摘除術を行う前に手術の難易度の予測ができれば、手術対象患者さん・家族への説明において手術難易度を説明することができます。また、合併症の発症が予測できれば、合併症を予防・早期対応することができます。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2011年3月1日から2030年3月31日までに日本医科大学付属病院泌尿器科で良性または悪性の副腎腫瘍のために腹腔鏡手術による副腎摘除術を受けられた患者さんの手術前の年齢や性別、身長や体重、手術歴、CT画像などを用います。手術時間の中央値を基準として、患者さんの全員のさまざまな情報を同時に解析し、中央値より延長していた手術の共通点を探します。

試料：なし

情報：年齢、性別、BMI、腫瘍の位置、既往歴、術前のCT画像、腫瘍の病理組織学的所見

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイド」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 泌尿器科 助教・医員 高館真美

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24682

メールアドレス：m-taniuchi@nms.ac.jp